【協働学習ソフトウェア「ミライシードASP版」の使用について】

現在、子どもたちは、国のGIGAスクール構想によって整備された1人1台端末を使用して、学習に取り組んでいます。さいたま市では、1人1台端末に協働学習用ソフトウェア「ミライシードASP版」を導入しており、プレゼンテーション機能や意見共有機能を使用して協働的に学習したり、習熟状況に合わせた問題が自動で出題される学習ドリル機能を使用して一人ひとりのペースに合わせて学習を進めたりすることができるようにしております。

これらの機能を最大限に活用するためには、外部サーバ内に児童生徒の学校名や学年・学級・出席番号、氏名、このソフトウェアを使用して学習した記録を保存する必要があります。これらは個人情報にあたりますので、さいたま市教育委員会では、個人情報取扱事務の手続きを行い、その内容を「個人情報取扱事務目録」でも公開するなど、法令に則って適切に対応しております。また、さいたま市情報公開・個人情報保護審議会の審議を受け、個人情報の取扱について適当であるとの答申を得ております。

さいたま市教育委員会では、取扱業者に対して、引き続き個人情報の厳正な管理について確認し続けてまいりますので、御理解、御協力の程、よろしくお願いします。